

木童 東京支店 (平成 28 年 11 月より移転)

東京都新宿区西新宿 7-7-26 ワコーレ新宿第一ビル 408  
TEL: 03-5937-5069 FAX: 03-5937-5079  
E-mail: [tokyo@kodoh.co.jp](mailto:tokyo@kodoh.co.jp)

木童 神戸本社

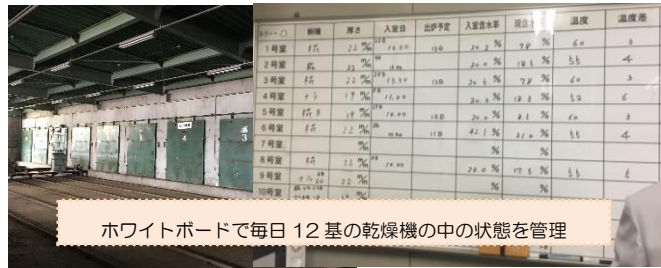
兵庫県神戸市北区大沢町篠 437  
TEL: 078-954-0072 FAX: 078-954-0257  
E-mail: [muku@kodoh.co.jp](mailto:muku@kodoh.co.jp)

## ★北海道産地見学

木童の広葉樹の中で信頼度が高い道産材。程よい気候の5月上旬に、品質管理と生産工程の確認の為、協力工場の1つである北海道夕張のフローリング工場を見学してきました。敷地面積が10万㎡ある大規模な工場で、木童のやまとなら、かば、あさだ、いたやかえでの「フローリング」と「パーケット」を生産してもらっています。取り扱い樹種の割合は、ながらメインで80%、残り20%がかば、あさだ、いたやかえでとなっています。



2300-2400㎡の原板から製品になるのは約3割



ホワイトボードで毎日12基の乾燥機の中の状態を管理

外には原板がたくさん積み、天然乾燥で約半年かけて20～25%まで含水率を落とします。次に天然乾燥させた原板を人工乾燥機に入れ、約2週間で8%程度まで含水率を落とします。毎日窯ごとにサンプル材の含水率を測り、温度と時間を調整します。何℃でどのくらい窯に入れるか決めるには長年の経験と勘が必要な作業です。乾燥に気を使っている工場だと知っているのも、木童では75巾、90巾の無垢床を床暖房で出すこともあります。

乾燥から上がった材料は養生後、手作業によって丁寧に床材に加工されます。検品作業も職人さんの手によって入念なチェックがされています。

広葉樹のフローリングは長尺が希少な為、長さはバラバラの本当の乱尺です。この工場では20mmごとに長さを仕分けて1梱包あたり1.65㎡になるように調整されています。梱包ごとに大きさも異なるのが特徴です。フローリング・パーケットともに仕上がり前の原板状態で、それぞれ25,000㎡分の在庫をしてくれています。



事務所床に施工された試作品の一部

また、最新のNCルーターという機械を導入し、デザイン性の高い床の開発も行っています。まだ試作段階ですが、とても面白いものができそうです。

品質管理の徹底、豊富な在庫、新たな試みも目の当たりにすることができた工場見学となりました。

## ★木童「ドアハンドル」事業部開設?

本格的な木製ドアハンドルを作りたいということで大手ドアハンドルメーカーさんよりご相談いただいたのが昨年の11月、その後、試作サンプル作りから始め、何度となく打合せ改良を進め、ようやく製品化することができました。メイプルとブラックウォルナット、長さ600mmの無垢材から削り出した正真正銘、無垢のドアハンドルです。



床壁材と同じく建築に関連する部分とはいえ、違う勝手に四苦八苦。しかしこれを機に新たな製品開発のチャンスも頂きました。次は国産木材もどんどん提案して、ドアハンドル部門でも国産材流通に貢献できるように頑張ります。



## ★家づくり現場レポート① 東京都大田区/マンションリフォーム 設計:ビルトロジック

木童材のリピーターでもあるビルトロジックさん。今回のマンションリフォームは自邸ということで、当初は、土佐梅なども検討されていましたが、これまで使っていた実績と(?)、適度な硬さが決めてとなって「館くるみ」を使っていたことになりました。床全面に使用し、自然オイル仕上げとしていますが、キッチン廻りだけは木童の超・撥水をオイルの上から重ねて塗装し、水が染み込まない様に気を使ってくれています。見学会の時に仕上がった現場を初めて見ましたが、くるみの柔らかさが一番に伝わってきました。また、夜になるとくると更に暖かい感じが出ていてとても落ち着く空間となっていました。



## ★家づくり現場レポート② 京都市上京区/上御霊前町事務所 設計:赤熊建築設計事務所

閑静な住宅地の神社前に、京都らしい素敵な建物が出来上がりました。今回この事務所では、約40枚の「からパネル」を一階の天井兼二階の床(踏天井)、出窓の棚板、洗面台、デスクの天板に使って頂きました。木童のカラ松三層パネル「からパネル」は、水平構面(床倍率)として使用できます。二階の床とカウンターデスクで統一感があり、カラ松の節も煩すぎず、すっきりとして良い雰囲気になっていました。



(写真左2枚は、麥生田兵吾さん撮影)

## ★家づくり現場レポート③ 台湾・台南市/西湖街茶室

台湾でも日本国産材を使った家づくりが進んでいます。とは言え、基本的な作りはRC造か鉄骨造が主流で、木造というのはまだまだこれから。先日納めた家も大きな4F建てRC造の上にちょこっと乗った木造部分が現場です。この規模が一般住宅というのだから、隣の国に行くだけで随分住環境が変わるものだなあという新鮮な驚きがありました。から松の外壁・桧の框・栗のデッキなど、木の使い方はこちらのアドバイス通りの基本的な適材適所。オーナー様ご家族も大満足してくださり、実はデッキは当初の予定にはなかったのですが、後から追加になったほど「木であること」を喜んでいただいています。



KODOH NEWS

■8/11(祝)～15(火)まで夏休みをいただきます。※神戸本社・東京支店ともにこの期間の住宅相談は承っておりません。

■9/9(土)は東京支店で無料住宅相談会を行います。※予約制となりますのでメールかFAXにてお申込み下さい。

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。